

## 令和5年度第3回朝来市地域包括ケアシステム推進会議録

日時：令和5年11月8日（水）13:30～15:10

場所：和田山生涯学習センター第1研修室

司会：足立 記録：藤原

参集者：中山会長、須磨副会長、足立委員、谷口委員、濱田委員、小島委員、柿沼委員、田中委員

欠席者：馬庭委員、小森委員、前田委員

事務局：馬袋課長、足立副課長、藤原課長補佐、田路主事、北野専門員、北川主任介護支援専門員

### 1 開 会

#### 2 あいさつ 中山委員長から

お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。第9期介護保険事業計画の作成にあたり、今までとは違う転換期を向かえています。皆さんの意見が市民の生活に反映しますので、忌憚のない意見をよろしくお願いたします。

### 3 議 事

#### (1) 令和5年度の活動予定 資料1

- ・ 資料1説明を行う。活動スケジュール、朝来市地域包括ケアシステム推進会議の運営について共通認識を行う。

#### (2) 地域ケア会議の体制デザイン図の変更について 資料2

- ・ 資料2の資料を参照。

(事務局) 朝来市地域ケア会議の体制デザイン図についてアンケートを実施し、一番意見が多かった

(案) 3を元に、アンケートの内容を反映し、朝来市ケア会議体制デザイン図を作成した。事務局会議の両脇に記載していたワーキング部会を削除し、必要時に作業部会を設置する文言を追加し、の朝来市地域ケア会議体制デザイン(令和6年4月改正)の内容に変更した。

(柿沼委員) 作業部会が立ち上がって内容の評価は、地域包括ケアシステム推進会議で実施するのか。

(事務局) 地域包括ケアシステム推進会議ではなく、事務局会議を中心に評価を行っていく予定。

(濱田委員) 虐待防止ネットワーク委員会の白抜きなのはなぜか。

(事務局) 地域の課題を抽出する際に、虐待防止ネットワーク委員会で検討した地域課題も含んでいる。要綱上地域ケア会議の部会とは別の会議体であるため、白抜きにしている。高齢者虐待防止ネットワーク委員会の詳細な内容については、資料を参照。

- ・ 資料2デザイン図で、来年度から実施することで承認いただく。

#### (3) お宝見える化マップ(支え合い実践集)について 資料3

- ・ 資料3参照。

(須磨副会長) お宝見える化マップには、インフォーマルなサービスを掲載する予定。

地域の支え合い活動を応援することが目的。こういう活動ならできるとしてもらえたり、人と人がつながるような冊子を作りたい。配布先：地域の区長、民生委員・ボランティアグループ、福祉事業所等に配布予定。市民目線でどういった冊子がよいかご意見をいただきたい。

～各グループ毎に10分程度グループワークを行う～

(1G) 足立委員、小島委員、北川主任介護支援専門員

- ・素敵なことだと思う。
- ・対象となる方の確認、アナウンスの方法
- ・頑張っている団体を増やしていくことが目的の冊子なのか、困っている方が利用するための冊子なのか。
- ・冊子設置場所は、市役所や相談窓口がよい。
- ・情報の更新の方法を検討

(2G) 田中委員、北野専門員

- ・集いの場を作るときは、民生委員等の負担が大きくなるため、負担を減らして集いの場を作ることができれば良い。
- ・男性がメインで実施している集いの場ができれば、男性の参加率が増えるのではないかと。

(3G) 谷口委員、濱田委員

- ・フォーマルとインフォーマルの線引きが難しい。
- ・グーグルフォームからエントリーする方法しかなければ、エントリーできない団体ができてしまうのではないかと。
- ・お宝見える化マップを案内するときに、概要がわからなければエントリーにつながらない。

(4G) 柿沼委員、馬袋課長、田路主事

- ・カテゴリー分けする方がよい。
- ・説明会のときに主旨をしっかりと伝える。
- ・灯油入れ等ちょっとしたボランティアをコーディネートする人が必要
- ・相談する人が活用しやすい内容
- ・無償ボランティアだと気を遣う方もいるため、有償ボランティアも掲載してはどうか。

(その他意見)

(中山会長) フォーマルとインフォーマルの冊子が別になると探しにくい。両方掲載してある冊子の方が探しやすい。頑張っているのにエントリーされない方も出るのではないかと。エントリーしていなければ使えない。

(事務局) フォーマルとインフォーマルの掲載するときの難しさとは何か。

(馬袋課長) ボランティア性の高い有償ボランティア（ワンコイン等で利用できる等）を掲載するかどうかの境目が難しいのではないかと。

(須磨副会長) 一団体A5サイズを想定している。安価なサービスを掲載するのかどうか迷っている（団体名、活動内容、問い合わせ先等）。

(馬袋課長) 活動のセールスポイントを記載してもらえればよいのではないかと。活動範囲は掲載するのか。

(須磨副会長) 登録フォームもまだ決まっていないため、活動範囲の記載も検討していきたい。

(中山会長) 団体の本部は市外にあるが、市内で活動を行っている場合はどうか。

(須磨副会長) 市内の活動を掲載するので、本部が市外であっても問題はない。

(事務局) エントリーお宝の人々同士のつながりの中で、新たな取り組みが生まれるかもしれない。

(須磨副会長) いきいき百歳体操を実施している所に市が表彰をしているが、冊子に掲載されることが喜びになればと思っている。

(濱田委員) 情報は更新する必要があるため、情報を更新していく仕組みはどう考えているのか。

(須磨副会長) 情報の更新が課題であり、何年後に更新することも考えなければならぬ。

(濱田委員) 紙では定期的な更新は難しいと思う。HPに掲載したデータの方が更新しやすいのではないか。

(事務局) QRコードで冊子のデータが見れる仕組みもよいのではないかと。

(須磨副会長) 目に見える形で市民に伝わったらよいと思っている。上記の意見を踏まえて検討していきたい。

(4) 第9期介護保険事業計画(地域包括ケアシステム推進部分)策定について **資料4**

・ **資料4**の資料を参照。

(1 G)

**【暮らしを支えるケアマネジメントの推進】**

- ・ スーパービジョンの体制づくりについては、本人の力か、朝来市の地域課題なのか見極める力が必要であるため、より質の高いケアマネジャーが育つことは良いことなのではないかと。
- ・ ワーキングケアラーの視点で、介護離職が増えてきているため、介護と仕事が両立できるよう労働力が市に還元できるようにと思っている。
- ・ 「※スーパーバイザー～」の文言を削除。

(2 G)

**【困りごとに対応する総合相談支援体制づくり】【向こう三軒両隣会議で支える体制づくり】**

- ・ 市に相談に来られるときは問題が複雑化してしまっているため、地域の方が相談しやすい相談が大切であるため、様々な方法での相談窓口の周知が大切。どの周知方法が効果があったのか評価していく。
- ・ 介入する方法についての評価も大切

(3 G)

**【認知症しあわせプラン～認知症になってもしあわせ・まわりもしあわせ～】**

- ・ チームオレンジの設置数の方が分かりやすいのではないかと。
- ・ 図表4-27について何人申請しているのかの方が市民にとって分かりやすい。
- ・ 一体的支援プログラムの内容について記載する方が分かりやすい。
- ・ 認知症高齢者等SOSネットワーク事業数なのに、人数になっているため分かりにくい。
- ・ 朝来安心見守りネットワーク事業締結事業所数は、事業所が減る中、現状を維持することを目標としている。

(4 G)

**【暮らしを支える医療・介護の仕組みづくり】**

- ・ ACP、身寄りのないワーキング、概ねこのままでよい。

- ・在宅医療・介護連携会議で意見を話し合うのであれば、検討できる委員を選定してはどうか。
- ・医療と介護の連携については、バイタルリンクを検討することも良いのではないか。

#### 4 閉会のあいさつ

須磨副会長あいさつ

生活支援コーディネーターの枠でご意見をいただきありがとうございました。